

平成 21 年 12 月 21 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社セラーテムテクノロジー

代 表 者 名 代表取締役社長 池田 修

(コード番号 4330、大証ヘラクレス市場)

本 社 所 在 地 東京都中央区日本橋本石町 3 - 1 - 2

北京誠信能環科技有限公司の子会社化完了ならびに 負ののれん発生に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 11 月 13 日開催の取締役会において、中国の北京誠信能環科技有限公司（本社：中国北京朝陽区。以下“北京誠信”）の 100%子会社化を決議し、同日公表しておりますが、平成 21 年 12 月 21 日付で、同社の子会社化が完了いたしました。また子会社化により連結財務諸表上、負ののれんが発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 子会社化の理由

今回、買収により子会社化した北京誠信は、中国国内においてソフトウェア開発、IT 技術及びソフトウェアを駆使した省エネコンサルティングサービス等を多数の官公庁機関などに提供しております。北京誠信と当社が、同じグループ企業になったことで、中国市場を当社の米国部門と並ぶ 2 大プロフィットセンターとして早期に確立でき、当社の飛躍的成長を図ることができます。

※本件子会社化については、平成 21 年 11 月 13 日付で公表いたしました「北京誠信能環科技有限公司子会社化に関するお知らせ」の通りであり、変更事項はございません。

2. 子会社（北京誠信）の概要

(1) 商号	北京誠信能環科技有限公司
(2) 本社所在地	中国北京朝陽区姚家園路105号觀湖國際1座9F
(3) 代表者	ワン フォイ（総経理）
(4) 事業内容	ソフトウェア開発、IT 事業、省エネ事業
(5) 設立年	2004 年 12 月
(6) 決算期	12 月

(7) 従業員数	360 人		
(8) 主な事業所	中国北京市		
(9) 資本金	70 百万人民元 (約 938 百万円)		
(10) 最近事業年度の業績の動向	単位：千人民元 (上段) 単位：千円 (下段)		
決算期	2006 年 12 月期	2007 年 12 月期	2008 年 12 月期
連 結 純 資 産	33,779 ¥452,599	71,852 ¥962,729	112,975 ¥1,513,718
連 結 総 資 産	82,237 ¥1,101,866	135,495 ¥1,815,462	139,428 ¥1,868,159
連 結 売 上 高	64,987 ¥870,749	158,686 ¥2,126,191	161,070 ¥2,158,128
連 結 営 業 利 益	16,929 ¥226,823	37,528 ¥502,840	52,470 ¥703,032
連 結 経 常 利 益	16,929 ¥226,828	37,823 ¥506,779	52,631 ¥705,192
連 結 当 期 利 益	10,361 ¥138,831	31,309 ¥419,500	39,187 ¥525,050
注:人民元の日本円への換算は、2009年10月23日付中国外貨管理局公表換算レート100円=7.4763人民元によります。			

3. 日程

平成 21 年 12 月 21 日 子会社化完了

4. 負ののれんの発生について

(1) 負ののれんの発生原因と金額

企業結合時の時価純資産が取得原価を上回ることが見込まれるため、その差額を連結貸借対照表上、負ののれんとして認識いたします。負ののれんの金額は、約 340 百万円となる予定です。

(2) 負ののれんが当社業績に与える影響

上記負ののれんにつきましては、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第 21 号 平成 15 年 10 月 31 日)を適用し、取得後 5 年間にわたり償却を行います。これにより、平成 22 年 6 月期は約 34 百万円、平成 23 年 6 月期から平成 26 年 6 月期までの各期においては約 68 百万円、平成 27 年 6 月期は約 34 百万円を、負ののれん償却により、営業外収益として計上いたします。

従前公表した通り、北京誠信子会社化とそれに伴う負ののれんの発生による当社業績への影響は大きく、業績予想の修正が必要であります。具体的な数値は、日米欧の地域を含め現在精査中であり、数値が判明次第、近日中にお知らせいたします。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社セラータムテクノロジー IR 担当 TEL:03-6820-0740